

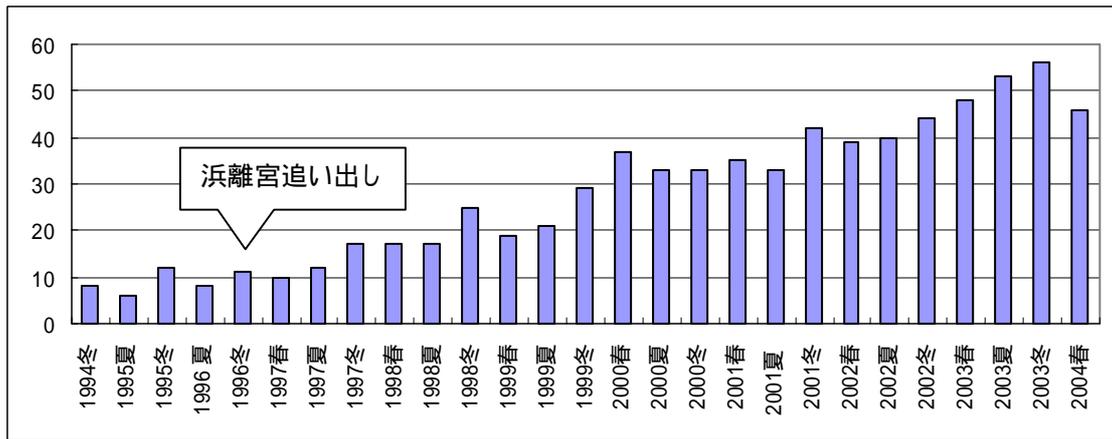
関東地方のカワウの分布と個体数の変化（1994年～2003年）

加藤ななえ 高木憲太郎（バードリサーチ・日本野鳥の会）
成末雅恵 福井和二（日本野鳥の会）

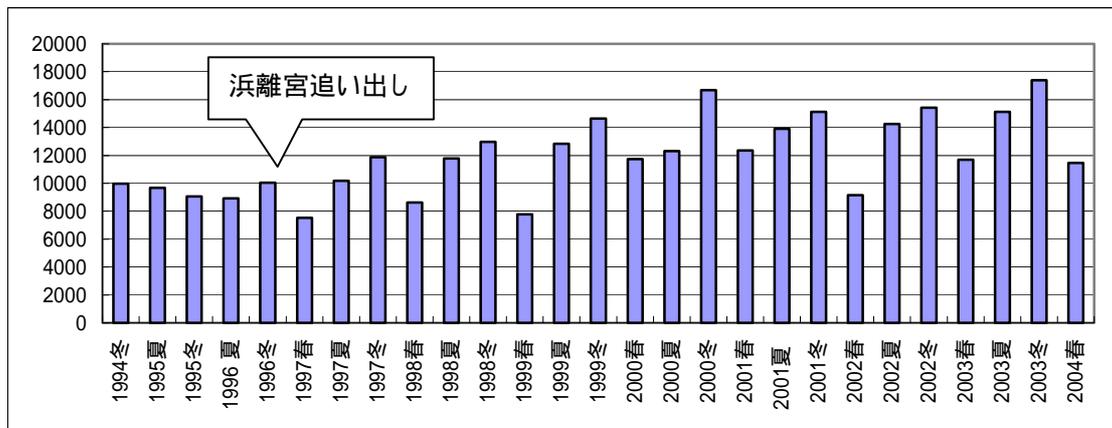
（財）日本野鳥の会自然保護室では、1994年より毎年2回（7月、12月）1997年からは3回（7月、12月、3月）関東にあるカワウのねぐらのほぼすべてで就塹個体数を調査してきた。今回は1994年12月より2004年3月までの約10年間の調査結果をまとめ、ねぐらの分布および個体数の変化について発表する。

ねぐらの箇所数は1994年に8カ所であったが、2003年と2004年にはおよそ50カ所になり、6倍以上に増えた。個体数は、この間、約10000羽であったものが、約1.5倍にまで増加した。

関東の中で最大規模であった浜離宮庭園のねぐらが消滅した1996年冬までは、ねぐら箇所数は10前後、個体数は10000羽前後で安定していた。その後、増加してきた個体数は15000羽前後で安定してきたが、ねぐらは出現する場所が消滅する場所を上回ることが多く、増加し続けている。ねぐらの分布拡大の原因については、人による攪乱の影響が大きいことが考えられた。



関東地方におけるカワウのねぐら箇所数の変化



関東地方におけるカワウの個体数の変化